

2019年4月8日

あおぞら投信株式会社

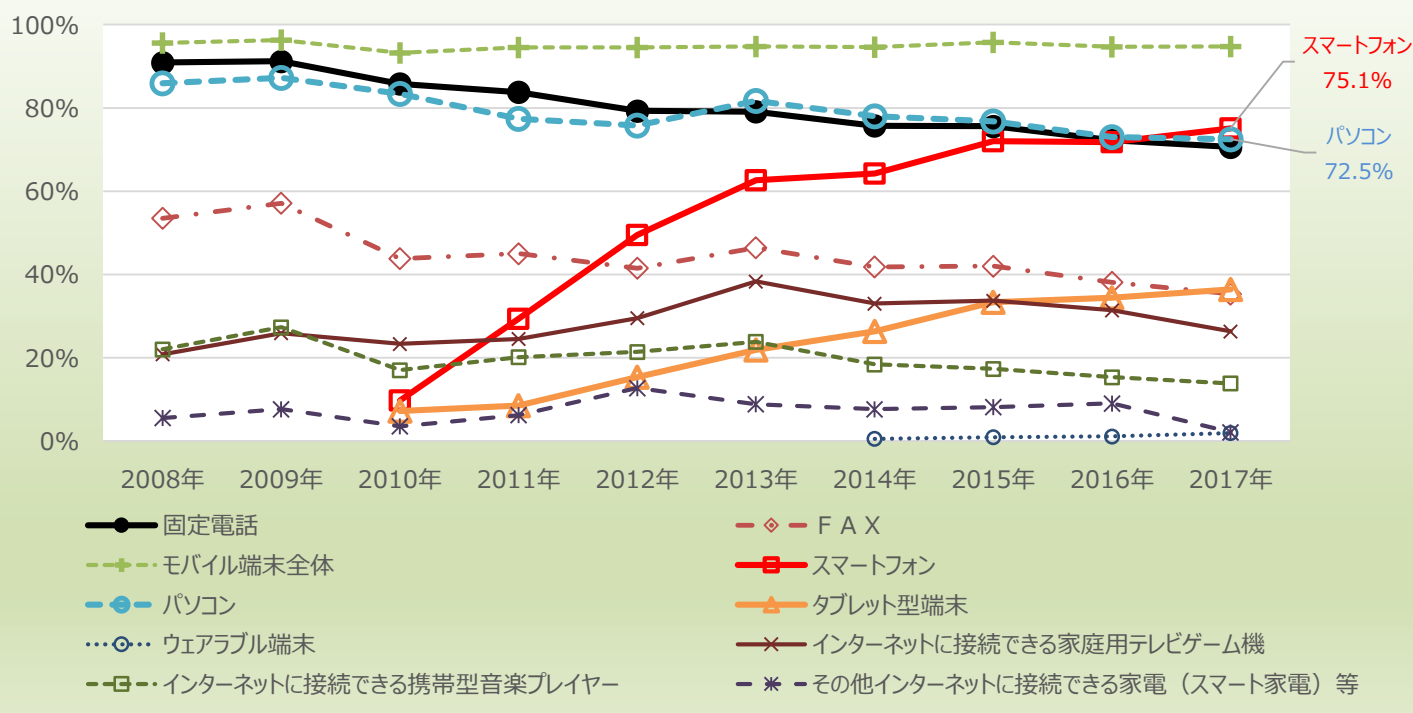
「世の変化 いつも平静とはならず 人の繋がり 和をもってなす」

次の元号が『令和』と決まり『平成』の時代も最後の一月となりました。M(明治)、T(大正)、S(昭和)、H(平成)からR(令和)へと時代の変遷を眺めた時に、平成時代の30年は大きな変化の時であったことは間違いのないと思います。最大の変化はICT(Information and Communication Technology: 情報通信技術)ではないでしょうか。

似たような言葉が溢れていますが、最初に使われたのはIT(Information Technology: 情報技術)でしょう。まずパソコンが会社や家庭に現れ、それが一人に一台となっていくところが始まりです。そこからインターネットを中心とするネットワークを活用することで、IoT(Internet of Things)という現象をさす言葉が生まれました。IoTとは「身の周りのあらゆるモノがインターネットに繋がること」であり、ここにはAI(Artificial Intelligence: 人工知能)の活用も含まれており、人間との役割分担まで進んで来ています。また、ITが技術そのものを指すのに対して、ICTは技術を応用してのサービスやビジネスも含めた表現であり、世界的にはこちらが主流です。そのような中で、直近10年の社会での最大の変化はスマートフォンの普及でしょう。ICT市場での、動画配信などのコンテンツ、クラウドサービスなどのプラットフォーム、固定・移動のネットワークといったものの活用の中心にスマートフォンがあるのだと思います。そして、2020年には5G(第5世代移動通信システム)の時代となり、大量の情報移動が可能になります。そのような社会変化の中だからこそ考えるべきは、人としての力だと思います。技術の変化への対応は負荷のかかる挑戦となりますが、一方、より人としての強い思いを持つこと、そしてそれを人に伝えることそのものが大切になるのだらうと考えます。新しい時代がそのような時代になることを期待しています。

柳谷俊郎

情報通信機器の世帯保有率の推移 (2008年～2017年)



出所：総務省「通信利用動向調査」

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2771号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>